

校長室より

第61号

「天空高き」



平成26年7月17日

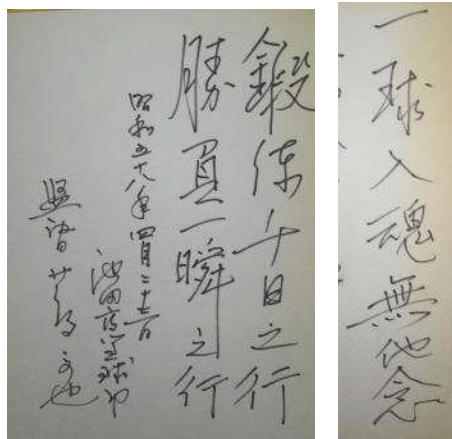
戦い今ぞいざゆけ友よ 一野球応援一

全国高校野球選手権山口大会の一回戦が13日(日)の予定が雨のため1日順延になり、翌日ビジコム柳井スタジアムで、行われました。対戦相手は同じ私学の聖光高校です。先に先取点を取られましたが、6回の裏に2点返し、逆転ムードが高まりました。しかし、残念ながら2対4で敗れてしまいました。一番悔しい思いをしているのは野球部の選手や監督、コーチそして保護者の方々でしょうが、応援した1年生や吹奏楽部員、生徒会の諸君等も同じ気持ちだと思えます。

今から31年前の昭和58年に江田島(広島県)で教員研修会が開催されました。講演会の講師は徳島県池田高校野球部監督の蔦(つた)文也先生でした。蔦先生は、過去、春夏合わせて甲子園優勝3回、準優勝2回を数え、1980年代の高校野球に池田あり、といわれた超名門校の監督でした。「攻めダルマ」といわれた名監督でした。

講演会の前日にたまたま蔦監督に出会い、色紙2枚に右のようなサインをいただきました。

1枚の色紙には「一球入魂無他念」(何も考えずに一球に集中しろ)。もう一枚には「鍛錬千日之行 勝負一瞬之行」(3年間(千日)の厳しい練習も勝敗は一瞬のことである)という言葉をいただきました。この2枚から、「厳しい3年間練習も今日の試合のために取り組んできた。何も考えずに一球一球に集中して試合に臨め」というメッセージをいただいたのだと思い、今



野球には性格が出る。普段の生活が大切だ。 池田高校野球部 蔦文也監督

もこの色紙を大切にしています。

昨日の敗戦から一夜明け、今日も普段と変わりなく、早朝から野球部の諸君がトスバッティング等に汗を流しています。敗戦から何を学び、今日からの練習にどう生かしていくのか。その答えは、今日の野球部の早朝練習にあるのではないのでしょうか。

イチロー選手は『ちいさいことをかさねることが、とんでもないところに行くただひとつの道』と言っています。頑張り！野球部の諸君。

ところで、この夏休み中に、全国大会に出場するクラブを紹介したいと思います。

ハンドボール部女子は、川崎市とどろきアリーナで、8月2日11時から鹿児島県代表と対戦します。空手道部の大江さんは、印西市松山下公園総合体育館で、8月2日に個人形に出場します。また、放送部の吉川さんは、7月22日から国立オリンピック記念青少年総合センターでNHK杯全国高校放送コンテストのアナウンス部門に出場します。

また、7月の下旬には、中学生の夏季県体予選会が岩国市の各会場で開催されます。3年生は最後の大会になります。

高校生も中学生も「一球入魂無他念」の心境で大会に臨んでください。私からは、「高水の応援歌」をおくり、皆さんの健闘を称えたいと思います。



グローバル化と進化

W杯ブラジル大会が14日に32日間の熱い戦いが幕を閉じました。ドイツがメッシを擁するアルゼンチンを破り、4回目の優勝を飾りました。南アメリカ大陸で開催された大会では、すべて南アメリカの国が優勝していましたが、ドイツはその壁も見事に撃破しました。

決勝トーナメントに突入してからは、朝5時からの試合に備え、5時前に目覚まし時計をセットしてきましたが、その闘いも終わりを告げました。



ロイター通信

W杯は自国の威信と名誉・誇りを賭けての闘いです。日本は残念ながら予選リーグで敗退しましたが、4年後のロシア大会の出場に向け、すでにその準備がスタートしています。

ところで、サッカーの世界ではすでにグローバル化が定着しています。皆さんも知っている各国の有名なプロサッカーチーム、例えばスペインのレアルマドリッド（ポルトガルのロナウドが所属）やバルセロナ（アルゼンチンのメッシ・ブラジルのネイマールが所属）、イングランド、プレミアリーグのマンチェスターユナイテッド（香川やオランダのファンペルシーが所属）・アーセナル、イタリアのセリエAのインテル（長友選手が所属）、ドイツのブンデスリーグでも、自国の国籍を持つ選手以外の選手の方が多く試合に出場しています。先ほどのアーセナルやインテルでは先発メンバー11人が全て外国人選手であるという事態も発生しています。日本のJリーグでは外国人枠が3名までという制約を設けて、自国選手の育成を図っています。

しかし、W杯では、その国の国籍を持つ選手しか出場できません。だから、国民はこれほど熱狂的に応援するのもかもしれません。しかし、例えば今回の日本の先発メンバーのほとんどは、外国のプロリーグに所属している選手です。この現象は日本以外のほとんどの出場チームも同様です。自国の選手でありながら、活躍の場は外国です。

W杯になれば自国に戻って、対戦しますが、戦う相手のチームの選手が、同じクラブチームの同僚であるという、不思議な現象が起こるのもW杯の面白いところです。

現在FIFAの加盟国は207カ国ですが、当然それぞれの国には文化を背景にしたチームカラーがあります。W杯はある側面から見れば、それぞれの文化の闘いとして捉えることも可能です。

前回の南アフリカ大会ではスペインのパスサッカーが世界を凌駕（りょうが）しました。しかしそのスペインも今回の大会では予選リーグで敗退しました。優勝経験のあるイタリア・イングランド・ウルグアイも予選で去りました。サッカーの世界もものすごいスピードで進化しています。進化論の著者、チャールズ・ダーウィンは、「環境に適應できる者だけが生き残り、進化する」と言っています。4年後のロシア大会

で生き残ることのできる国は一体どこなんでしょうか。今から、ワクワク、ドキドキです。

想像力を働かせる！

「振り込め詐欺にかかわったとして、昨年1年間に摘発された少年が過去最多の262人だった」という新聞記事を読みました。

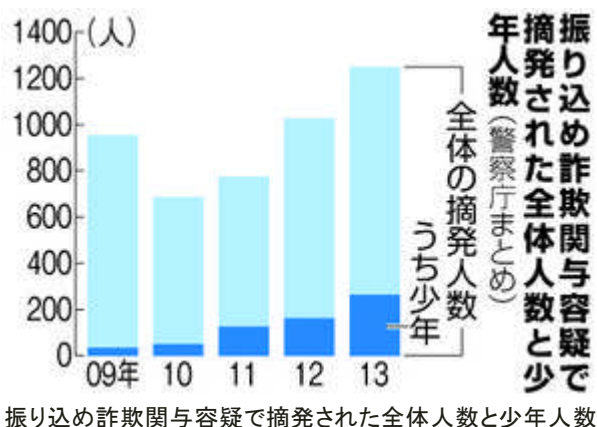
先輩から誘われてアルバイト感覚で安易に加担したのかもしれませんが、犯罪です。アルバイトの内容や報酬金額を聞けば、「あやしい」と思うはずです。振り込め詐欺に直接関与していなくても、加担していれば犯罪です。中・高校生ならちょっと想像力を働かせれば危険だと察知できたはずです。一人なら決し

てやらないのに、仲間がいるから、まっいいかと、集団心理が働いて、法を犯してしまうのでしょうか。改めて言います。「想像力を働かせ、危険を察知せよ！」

来週から夏休みです。一人ひとりが安全で安心な夏休みを過ごしてもらいたいと思います。そのためには、目標を設定して、計画的で規則正しい生活を送ることです。気の緩みは、事故や事件に遭ったり、巻き込まれたりします。「備えあれば憂いなし」という諺があります。当たり前のことを当たり前続けることです。

皆さんに実践して貰いたいことがあります。それは、「これならできる。これなら続けられる」ことを、この夏休みにチャレンジしてください。皆さんの成長を大いに助けてくれます。

2学期の始業式には、一回りも二回りも成長した皆さんに出会えることを楽しみにしています



振り込め詐欺関与容疑で摘発された全体人数と少年人数

朝日新聞デジタルより

夏休みの動静

登校日 (中) 7月31日(木)、(高) 8月6日(水) 定刻出校

進学課外 8月18日(月)～27日(水)

始業式 8月29日(金) 3限～授業